

8-4-20 鉄道専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会の開催回数：9回

(2) 鉄道専門委員会セミナーの開催

若手および中堅技術者を対象とした、鉄道に関するセミナーを年2回計画。

a) 7月1日（月）協会会議室

「開削トンネル標準の改訂について」

講師 仲山 貴司氏

公益財団法人 鉄道総合技術研究所

参加者 85名

b) 12月2日（月）協会会議室

「地下鉄建設の設計・施工法の変遷」

講師 藤木 育雄氏

パシフィックコンサルタンツ株式会社

参加者 62名

(3) 「品質セミナー」のためのエラー事例の収集と分析を実施。昨年に引き続き、委員出身各社からエラー事例を収集し整理した。昨年までの144例に10例を追加し154例とした。

本年度は品質セミナーに参加し、エラー事例とともに、鉄道に係る設計業務の近況を説明した（隔年参加）。

(4) RCCM 教材の改訂

RCCM 自主学习システム教材の改訂は、章構成の変更を含む大幅な見直しを行った。

同時に演習問題についても、新規問題を多く追加した。

(5) 「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（改訂第11版）に関する改訂および普及活動

「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（改訂第11版 第2版）について、発注機関からの問合せにより計39部を配布した。

また、建コンの一般用ホームページに掲載している正誤表についても、必要に応じて随時、更新している。

(6) 「報酬積算の手引き」（改訂第11版）に関する質疑対応

「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（（一社）建設コンサルタンツ協会 改訂第11版）に対する質疑について対応した。質疑件数は、48件であった。

(7) 独立行政法人 鉄道・運輸機構との協議

独立行政法人 鉄道・運輸機構と設計歩掛に関する意見交換を行った。継続審議が必要な課題については、必要に応じて歩掛実態調査も含めた対応を行い、前向きに協力していく。

(8) 月刊誌「道路」への執筆

「月刊誌「道路」2月号 ミニ特集 アンダーパス」に「鉄道直下のアンダーパスの計画・設計事例」と題して論文を投稿した。

2. 次年度の活動について

次年度の活動としては、継続的な作業として年2回の「鉄道セミナー」開催、エラー事例の収集（次年度は講師を派遣する予定）と分析及び品質セミナーWGの参加、RCCMの自主学习システム教材改訂、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（第11版）の普及を実施して行く。

加えて、若手技術者のための鉄道技術に関する小セミナーや現場見学を検討する。

その他、鉄道総研、鉄道・運輸機構等への窓口として、技術標準の改定に伴う資料の収集と展開などの役目を果たしていく。

（鉄道専門委員会委員長 横田 昌也）